

## 第41回ろうきん旗学童軟式野球熊本県大会要項

1. 目的 健全なる少年達の育成と技術の錬磨並びに親睦を図ることを目的とする。
2. 主催 九州労働金庫熊本県本部
3. 主管 熊本県軟式野球連盟・熊本市軟式野球連盟
4. 後援 熊本放送・テレビ熊本・くまもと県民テレビ・熊本朝日放送・エフエム熊本・FM791  
熊本日日新聞社・くまもと経済
5. 会期 令和6年7月6日(土)・7日(日)・13日(土)・14日(日) 予備日15日(月・祝)
6. 会場 運動公園野球場他
7. 参加資格 (1)選手の登録は、熊本県内居住者及び隣接県に居住している者  
(2)熊本県軟式野球連盟各支部に登録しているチームであること  
(3)支部予選代表又は支部推薦チームで、平成27年度熊本県軟式野球連盟で決定しているチーム数  
(4)スポーツ保険に加入済みのチームに限る。
8. チーム編成 監督1名、コーチ2名以内、選手10名以上25名以内とする。
9. 競技規則 2024年公認野球規則、2024年競技者必携並びに別に定める特別規則を適用する。
10. 試合方法 (1)トーナメント方式とし各試合6イニングとする。  
ただし、試合時間が1時間30分を経過した場合には新しいイニングには入らない。  
(2)5回以降7点差の場合は得点差によるコールドゲームとする。  
ただし優勝戦は5回以降10点差とする。  
(3)6回又は制限時間が来ても同点の場合は、タイブレーク戦を最大2回まで行う。  
それでも決着がつかないときは、出場選手9名の抽選で勝敗を決定する。  
ただし、優勝戦は勝敗が決するまで行う。  
(4)タイブレーク方式は継続打順で、前回の最終打者を一塁走者、その前の打者を二塁走者とする。すなわち、無死一・二塁の状態にして、投手の投球制限を遵守の上行う。  
(5)全試合特別継続試合を適用することがある。  
(6)降雨、暗黒などで6回までイニングが進まなくても5回を完了すれば試合は成立する。  
(7)守備側及び攻撃側のタイムは、1試合に3回以内とする。タイブレーク戦は1イニングに1回とする。  
守備側のタイム中に攻撃側は指示を与えることが出来るが、守備側のタイムより長引けば攻撃側も1回カウントされる。  
攻撃側のタイム中に守備側は指示を与えることが出来るが、攻撃側のタイムより長引けば守備側も1回カウントされる。  
(8)投手の投球制限については、2024年全日本軟式野球連盟の規定通りとする  
1日70球で到達打者完了までとする。(ダブルヘッダー持ち越し可)  
4年生以下は、1日60球とする。  
なお、特別継続試合での投球数は元の試合で投じた球数を引き継ぎ残りの球数のみで行う。  
また、特別継続試合に勝利したチームの投手は、同日に行われる試合において1日の投球制限を超えない範囲で登板できる。

(9)守備の時間が長い場合(概ね20分)及び酷暑の場合での2、4回、タイブレーク戦に入るときは6回終了後に健康維持を考慮し、審判員の判断で約5分間の給水タイムを設けることとする。(試合時間には入れない)

給水タイム時はベンチ内に入ること。

天候次第では実施しない場合もあるので試合前に確認すること

11. 学校行事との調整

学校行事については配慮するが、行事参加者を除いて10名以上の選手が試合に出場できる場合は日程調整を行わない

12. 使用球 (公財)全日本軟式野球連盟公認球 J号ケンコーボール

13. 審判 熊本県軟式野球連盟公認審判員

14. 参加申込 出場資格を得たチームは参加申込書に所定事項を記入し、各支部を経由して6月24日(月)までに熊本県軟式野球連盟少年部事務局にメールにより提出する。

※少年部メールアドレス [kumamoto-shounen@bun.bbiq.jp](mailto:kumamoto-shounen@bun.bbiq.jp)

参加申し込み後の変更追加は監督会議前日まで認める。

15. 参加料 15,000円(監督会議時に納入)

16. 監督会議 令和6年6月29日(土) 15時00分～ 場所 水前寺共済会館  
(TEL096-383-1281) 住所 熊本市中央区水前寺1-38-18

17. 開会式 令和6年7月6日(土) 9時～ 場所 県運動公園野球場B

18. 表彰 優勝 賞状・優勝旗・メダル 準優勝 賞状・準優勝旗・メダル 3位 賞状・メダル

19. 上位大会への出場推薦

本大会の優勝チーム及び準優勝チームを九州選抜学童軟式野球大会への出場を推薦する。(北九州市で開催 8月中旬)